

The Democratic Party of Japan

- 小金井市版 - 2014年6月号

民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
<http://www.dpj.or.jp>



●お問合せ・購読申込などは
民主党プレス民主編集部または
【民主党小金井支部】
支部長：西岡 真一郎
〒184-0012
小金井市中町 4-12-11-406
TEL:042-386-5771/FAX:042-386-5773

待機児童数 257名 昨年比 69名増は多摩ワースト

待機児童数は増加の一途 138名(平成24年4月1日) → 188名(平成25年4月1日) → 257名(平成26年4月1日)

待機児童率(就学前児童数に対する待機児童数の割合) 4.4%は3年連続多摩ワースト!

民主党小金井支部は、市が保育計画を策定せず、単年度の対策のみに終始し、主体的、積極的に解決策を図ってこなかったことが待機児童増加の要因であると一貫して指摘し、平成26年度の市長の施政方針に対する代表質問においても唯一、庁内横断的な対策チームを組織し、緊急対策を講じるべきだと要望するとともに、あらゆる政策提案を行ってきました!!



市長は一貫して、「保育予算も施設も増やしてきた、やれることはやってきたが、保育需要がそれを上回っている」と答弁を繰り返し、緊急対策には消極的でした。

認可保育所定員の5年間で14名増は待機児童率1.0%以上の12市でワースト! 認可外を含めてもワースト3!

小金井市の状況	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	26-22
待機児童数	91	115	138	188	257	166名増
就学前児童数	5,007	5,276	5,400	5,654	5,794	787名増
認可施設定員	1,323	1,343	1,361	1,378	1,397	74名増
認可外施設定員	189	235	267	273	373	184名増
待機児童率	1.8	2.5	2.5	3.3	4.4	2.6%増

民主党の調査で「保育需要に追いつけないのではなく、明らかに政策判断の間違いである」ことが判明
市長も「数字の上ではそうなる」と認め、下記の通りようやく保育政策が前に進み始めました!!

認証保育所、小規模保育所の新設を含む第2回補正予算が可決!

① 認証保育所の新設 (平成27年4月開設予定)

関野町2丁目に40名規模の認証保育所を新設
入所枠 0歳9名、1歳12名、2歳12名、3歳~5歳7名

② グループ保育室の新設 (平成26年度中に開設予定)

東京都スマート保育事業を活用した小規模保育施設
0~2歳児30名(10名×3施設)のグループ保育室を新設

上記以外の今後の小金井市待機児童解消方針

- 平成27年1月、貫井保育園の分園20名規模を開設
- 公務員宿舎の空き室を利用した家庭的福祉員事業を実施
- 平成27年度4月、こむぎ保育園の分園40名規模を開設
- 平成27年度中に民間の認可保育所を新設
- 国有地等の活用を図り、保育施設の設置を検討
- 公立保育園で10名の新規受け入れを実施

民主党が提案した下記政策の(★)が実現!!

- ★ 空室・空店舗を活用する東京都スマート保育の活用
- ★ 保育ママ2~3名でのグループ保育園の創設
- ★ 保育ママ、小規模保育への都補助金の積極的活用
- ☆ 町田方式による、施設用地と施設運営を別に公募し、マッチングによって認可保育所を新設
- ☆ 駅前保育送迎ステーションを設置し、立地条件によらない需給の平準化
- ☆ 3~5歳児の為に市内幼稚園の預かり保育の拡充
- ☆ 市内の認証保育所の認可保育所への移行支援

⇒遅きに失したが、保育政策がようやく前に進み出したことは評価したい。今後も皆様の声をカタチにする為に政策提案していきます!!

武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業が計画中です

現在、武蔵小金井駅南口第2地区では、地権者の方々の発意により再開発準備組合を設立し、再開発事業を計画中です。これを受け、市では都市計画決定に係る説明のための市議会全員協議会を3回開催し、4月25日には市民説明会を開催したところです。今後は8月中の計画決定に向けた調整が行われます。



武蔵小金井駅

ヨーカドー



<完成イメージ図>

<現在の武蔵小金井駅南口第2地区>

～なぜ再開発が必要なのか？～

もともと駅前第1地区と一体での再開発計画で第2地区の地権者も開発に協力してきた経緯があり、現在の第2地区は老朽化した木造建物が多い上に狭い道路が多く緊急車両が通行できない等の安全性や防犯・防災上の問題点がある。

<今後予定されているスケジュール>

- 平成26年度 都市計画決定
- 平成27年度 本組合設立
- 平成28年度 権利変換計画認可
- 平成29年度 解体・本体工事
- 平成31年度 工事完了

現在、市の補助金15億円の支出の妥当性についての議論が活発化していますが、小金井市議会民主党は、再開発準備組合の方々のご意見を尊重し、計画的都市基盤整備のタイミングを逃すことなく将来への責任を果たすべきと考えます。その一方で、市民への丁寧な説明を重ねることも重要と考え、円滑な合意形成方策を提案していきます！

憲法解釈の変更による**集団的自衛権行使**の容認に**反対**する意見書が**可決**！

市議会第2回定例会にて、小金井市議会民主党は、6月9日開催の本会議で、党派を超えて「憲法解釈の変更による集団的自衛権行使の容認に再度反対する意見書」を提案し、13対6（4名退席）の賛成多数で可決しました！

賛成 13 → 民主②、共産④、ネット②、みんな②、市民会議①、市民自治①、こがおも①
反対 6 → 自民⑤、改革① **退席 4** → 公明④

民主党小金井支部は連日、朝の街頭演説を行い、市民の皆様へ訴え、他議会に先駆けて意見書を可決、国会に送付しました！

憲法は不磨の大典ではなく、環境権など時代に合わせた改憲も必要ですが、すべて国会の場で正々堂々と議論するべきであり、特別に急ぐ理由も解釈改憲しなければならない理由もない現政権の暴走に断固反対し、諦めることなく戦い続けていきます！！



<超党派の賛成議員による街頭演説>

民主党小金井支部メンバー



顧問
菅 直人
(衆議院議員)



支部長
西岡 真一郎
(前 東京都議会議員)



幹事長
鈴木 しげお
(小金井市議会議員)



幹事
村山 ひでし
(前 小金井市議会議員)



幹事
岸田 正義
(小金井市議会議員)